資料２

仙台市震災復興ビジョン（案）骨子　全体イメージ

Ⅰ　はじめに

1　ビジョンの位置づけ

・「仙台市復興計画」(10 月末を目途に作成)の素案として、復興への市の考え方・方向性を示すもの

2　今回の被災の特徴と課題

・津波により東部地区を中心に甚大な被害、宅地・地盤強度の脆弱性が明らかに
・ライフラインの大規模被害、燃料供給ルートの断絶により、市民生活・経済活動に大きな影響
・人と人とのつながりや支え合い、絆や協働の大切さが再認識
・本市のみならず、東北地方を中心とする広範囲な大規模被害

3　ビジョンのコンセプト

～　新次元の防災・環境都市　～
・減災を基本に全ての市民の命と暮らしを守る
・自然と調和した省エネルギー型の環境先進都市
・地域の支え合い、「絆」と「協働」を重視
・経済活力と雇用を創出し、東北の復興を牽引

4　計画期間

平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間　（「復旧・再生期」→「発展・創出期」）

Ⅱ　被災者の生活再建と被災地区の復興に向けて

1　被災者の生活再建・自立に向けた支援

・当面の生活基盤の確保（仮設住宅の整備、宅地・農地のがれき撤去、支援制度等の情報提供）
・雇用の創出
・個々の健康状態や身体の状況等に応じた日常生活支援
・生活再建に向けた自立支援

2　東部地区の住まい・生産の再構築

・防災施設に関する基本的な考え方（津波に対する高い防災機能を備えた施設整備）
・住まいの安全と土地利用に関する基本的な考え方（集団移転・集約化、建築制限等）
・新たなまちづくり（防災機能を備え自然環境と調和した先進的なまちづくりのモデルに）
・農業の再生（経営形態の見直し、より生産性の高い農業への再生）
・人々が集い交流する空間の創造（復興への市民参加、憩いと交流の拠点となる空間の創造等）

3　丘陵地区等の宅地の再建

・被災宅地の安全の確保
・既存制度の拡充の要請

4　中小企業対策

・緊急資金支援等の実施
・交流人口の拡大（風評被害対策等）
・販売拡大支援の実施
・事業活動再開に向けた支援

Ⅲ　仙台の復興に向けた新次元都市づくり

1　防災先進都市

・災害に強い都市基盤の形成
・広域交通ネットワークの整備
・非常時におけるエネルギー・燃料等の確保
・防災拠点の整備
・避難所等の見直し
・情報通信体制等の強化
・住宅、マンション等の耐震化の促進
・地域コミュニティ等による防災力の向上
・市民一人ひとりの防災力の向上

2　省エネルギー・環境先進都市

・エコモデルタウンの構築
・資源循環の取り組みの推進
・公共交通ネットワークの利用促進

3　支え合いと協働のコミュニティ先進都市

・支え合い、助け合いの輪を広げる取り組みの促進
・将来に向けた人づくりの充実
・ボランティア活動の促進
・ＮＰＯ・企業等の力を生かした復興支援活動の推進

4　東北を牽引する経済活力都市

・農と食のフロンティア
・新エネルギー関連産業の集積
・都市防災力を高める産業集積の推進
・ソーシャルビジネス・地域商店街に対する支援
・被災地の広域的連携による交流人口の拡大

Ⅳ　復旧計画の策定と推進に向けて

・復興を円滑に進めるための持続可能な財政基盤の確立
・復興を支援する新たな枠組み構築の推進
・市民協働による復興計画の策定
・多様な主体による復興事業の推進